

I 先行する神の恵み。

自分の罪の為に滅んで当然の私達への三位一体の神の愛、主の恵み、聖霊の交わり（内住）を、心から感謝します。御霊の実は、神の御性質。神に拠り頼む者に、御霊なる神が結ばせて下さる実。

II 御霊の助けがない時の私達は、柔和さがなくなる。

いらいらさせる人に、愛、忍耐がなくなり、怒り、かっとなってしまふ。

しかし、失望しないようにしたい。私達には、主にある希望がある。自分の力で、柔和な実を結ぶ事は出来ないが、柔和な神と深く交わり、霊的なぶどうの木であるイエス様にしっかり繋がらば、御霊は、霊的な養分を与え、私達を柔和な者に変え続けて下さる。

※お年寄りや認知症の方々が、同じことを何度も語られる時、御霊の実である寛容、柔和が必要である。柔和で忍耐深い神は、気づかせて下さる。「あなたには、欠点や失敗はないのですか。わたし（神）自身が、あなたのことを、これまで、どれほど忍耐と柔和をもって接して来たか気づいていますか。あなたも、いつか、年を重ね、同じようになり、ある方々の柔和な介護を受ける側になるのですよ」と。人は皆、互いに支え合って生きるように神は、お互いを生かされている。

III 「柔和」の意味。原語：柔和、温順、親切。優しさ（憂いを経験した人が与えられる品性）。

IV 「柔和」という言葉が出てくる御言葉から教えられる事。

1. 「わたしは心優しく（「柔和」と同じ原語の形容詞）、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます」マタイ11：29。

イエス様こそ、心優しく、柔和な方。御霊なる神は、御言葉、祈り、失敗、痛み、憂い等を通して、私達を柔和なイエス様の品性に変え続けて下さる。

2. 「私パウロは、キリストの柔和と寛容をもって、あなたがたにお勧めします」

I コリ10：1。

私達は、誰かに、お勧めや注意をしなければならない時、キリストから柔和と寛容をいただいて、相手と接する事が大切である。人と接する前に、祈りが必要。

3. 「もしだれかがあやまちに陥ったなら、御霊の人（御霊が宿られ、御霊が柔和を与えて下さる人）であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい」ガラテヤ6：1。

誰かが過ちに陥った時、柔和な心でなく、怒りと責める心で、その人を正すなら、

相手が強いタイプの人なら、反省ではなく、反発が返ってくる。相手が弱いタイプなら、心が閉ざされ、落ち込み立ち上がれなくなる。しかし、柔和な優しい心で、正される時、相手の人格が否定されず、正された人も反省しやすくなる。御霊の実である柔和をいただいて事に当たれますように。この箇所の文脈で、「柔和」とは、どのようなものかがわかる。

「自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい」6：1。

柔和とは、人に対して上から目線で正す高慢な心ではなく、自分自身も誘惑に陥る可能性のある弱い者という自覚のあるへりくだった心。続く御言葉が、その事を裏付けている。

「だれでも、りっぱでもない自分を何かりっぱでもあるかのように思うなら、自分を欺いているのです。おのおの自分の行い（陰の行為も、神はすべてを見ておられる）を良く調べて（外側だけではなく、その心、真の動機も）みなさい。そうすれば、誇れると思ったことも、ただ自分だけの誇りで、ほかの人に対して誇れることではないでしょう」：4。

神は、自分は人を正す資格はないと自覚している謙遜で柔和な人を、人を正し、その人を回復させるために用いられる。

「立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい」Ⅰコリ10：12。

柔和で謙遜な人は、自分の弱さを認めて、目を覚まして祈り続ける。

4. 「謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい」エペソ4：2-3。

ここには、御霊の実が、集中している＝柔和、寛容、愛、平和（平安）。

主の教会の御霊の一致を保つために、御霊の実、柔和は欠かせない。なぜだろうか？

それは、教会は、完全、完璧な人の集まりではなく、欠点、弱さ、罪が残っている人の集まりだから。いつも順調で完全な教会は世界のどこにもない。主の姿に変えられつつある霊的工事中の不完全な者の集まりである。どこの教会にも問題が起こる。しかし、主が教会のかしらであり、教会の土台であり、神が共におられる。御霊の実である柔和な心で、正し合う必要があり、柔和な心で赦し合う必要がある。赦し合う柔和を与えて下さい。

6. 「これらのこと（すべての与え主である神よりも、金銭に執着すること）を避け、正しさ、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を熱心に求めなさい」Ⅰテモテ6：11。

柔和は、自分の力で生み出す事は出来ない。

柔和な神に熱心に柔和を与えて下さるように熱心に祈り求めたい。

7. 「反対する人たちを柔和な心で訓戒しなさい。もしかすると、神は彼らに悔い改めの心を与えて真理を悟らせてくださるでしょう」Ⅱテモテ2：25。

訓戒には、柔和な心が大切。

8. 「だれをもそしらず（非難せず、悪口、陰口を言わず）、争わず、柔和で、すべての人に優

しい態度を示す者にならせなさい」テトス2：2。

祈り：主よ、御霊なる神が結ばせて下さる柔和で、人に優しい態度を示す者に変え続けて下さい。